

# 継体大五千五百年大祭

—こしの都伝統文化出立祭—



10月5日、丹南各地に伝承が残る継体大王の即位を記念する「こしの都千五百年大祭」が開幕し、南越前町では河野ふれあいシーサイドパークで、扶余郡金茂換郡主らを招き、こしの都伝統文化出立祭が行われ、日韓の伝統芸能が披露されるなど、古の出会いを喜び、更なる友好と相互の発展を誓いました。

古代舟に乗った河野保育園児や集まった町民ら約百人が日韓の国旗をはためかす中、朝鮮半島の百濟最後の都が置かれた扶余郡の金茂換郡主ら8人が登場し「百濟と日本はどの国よりも活発に交流が行われてきた」と古代の交流を再現した出立祭の開催に感謝を示されました。

増澤町長は「大王が過ぎた時代に大陸文化が朝鮮半島から海を渡り、こしの国に到来したとの想定でこの祭りが催されました。遠い時代に想いをはせ、歴史浪漫に浸ってください」とあいさつ。

夕暮れ迫る中、古代舟を前に韓国伝統芸能の団体ブッコチュ（東京）による音楽演奏や、「糠どっさり」（糖あやめ会）、「漁火太鼓」（漁火太鼓保存会）の日韓の伝統芸能が披露されました。

## 古代舟の安全を祈願

出立祭に向け、継体大王の母振媛と后妃閼媛が祀られている羽太神社境内振媛神社で、増澤町長をはじめ、継体大王の衣装を着た宮本重治味真野継体天皇即位千五百年記念事業実行委員長、古代舟を製作した西山幸和さん（東谷）、羽太神社総代らが参列し、古代舟の安全祈願祭が行われました。

祈願祭は、町民ら約2000人が見守る中、漁船を改修して製作された古代舟のこれからの道のりの無事が祈願されました。

増澤町長は「現代の匠の技術



で素晴らしい古代舟が完成しました。河野のふれあいシーサイドパーク、そして越前市の岡太神社まで無事に、そして再現された匠の品々を積み千五百年大祭での交流事業に役立ってほしい」とあいさつ、南条中学校和太鼓部が太鼓を打ち鳴らして出発を祝いました。

# 歴史浪漫にいにしえ思い



日韓の伝統芸能を披露



11/11  
(日)

## 山海里・秋の収穫祭

■会場 リトリートたくら

■時間 午前10時～午後3時

### ステージイベント

山海里の恵み

感謝セレモニー 9時30分～

抽選もちまき 10時20分～

ベジタブルミュージック漫談

「はたのぼる」の出演 13時20分～

その他、南越前 夢・華はす

隊ヨサコイ演舞と南越前町クイ

ズやそは朝食(コンテスト)

### 特産品販売コーナー

山・海・里の幸 販売

おろしそば

模擬店(地元素材の山菜おこ

わやもちなど)

### 体験・展示コーナー

そばに関する資料展、赤谷川

砂防堰堤群資料展、農機具古

今展

### 海の幸・山の幸振舞

しし肉(炭火焼肉) 10時20分～

### 山海里鍋

海鮮鍋 11時20分～

しし鍋 13時10分～

無料配布

### アカタン砂防えん堤

見学ツアー 11時30分～

### ペンシルバルーン

野菜づくり体験 10時～

### 問合せ

山海里・秋の収穫祭実行委員会事務局

(有)リトリート田倉 Tel 45-11331

リトリートたくら Tel 45-1310

今庄・地域振興室 Tel 45-8002